

# ひだか



HIDAKA GIKAI DAYORI

# 議会だより

第143号

平成23年8月1日



全国大会出場

行政報告	2～3P
審議したこと・決まったこと	4～5P
議員提出議案・陳情・請願	6P
委員会活動	6～9P
一般質問に4氏が立つ	10～13P
議会日誌	14P

# 行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

## 東日本大震災の 災害派遣・義援金 について

保健師を5月25日から31日までと、6月24日から30日までの2週間宮城県南三陸町へ2人を派遣し、宮城県仙台市へ5月22日から4週間4人の職員を派遣した。ボランティア休暇で職員1人が4月16日から24日にかけて宮城県石巻市の災害作業に従事している。

災害義援金につきましては、福島県、宮城県、岩手県にそれぞれ100万円を送り、自治会・議員・各行政委員会・職員等には義援金をお願いしたほか、義援金箱を9月30日までお願いしている。集まりました分として、

6月2日に高知県災害対策本部へ288万円届けた。

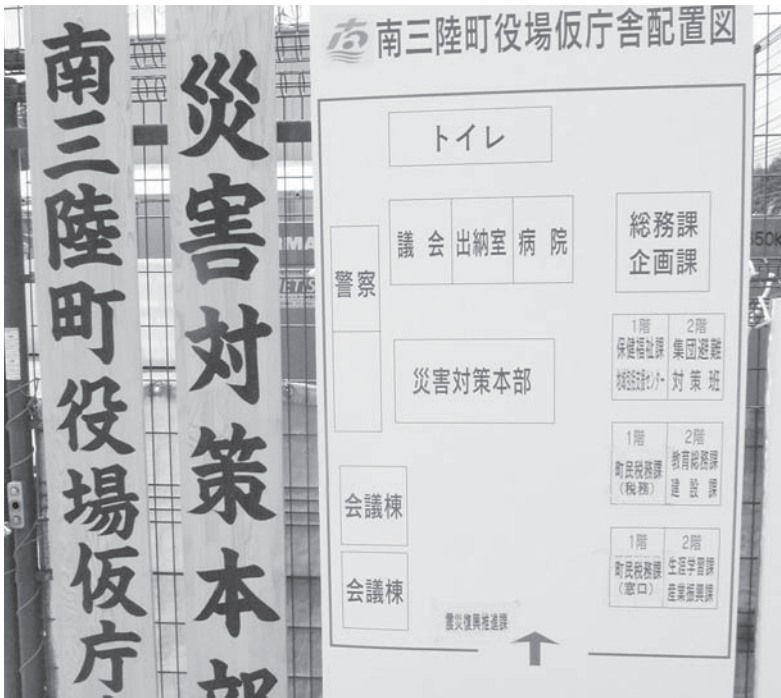
## 国道33号日下橋 交差点改良の状況

日下橋西側については、補償の対象物件(家屋等)の

調査がほぼ終わり、これから用地・補償交渉等が行われると聞いている。

代替地については、国道南側を希望される方が多く、検討した結果、道路を通すことで確保ができるため、今議会に用地確保の予算を計上している。

東側については、村としてもこの事業に対するご理解を得るべく取り組んでいるが了解はもらえていない。



南三陸町災害対策本部

このままだと西側は両サイドに歩道が設置され、安全で見違えるような景観となるが、東側は歩道のない、高齢者や子どもたちの安全が危惧される状態となり、今の機会を逃すと国の採択はしばらく見込めないばかりか、今後要望していく予定の岩目地交差点や父原交差点の改良のめども立たない状況が想定され、村民の安全対策に大きな支障が出ると思われるので、ご理解を得るべく努力をしていきたいと考えている。

## 戸梶川調整池の 進捗状況

現在工事が行われている稲葉橋は、本年7月に完成予定、排水門の管理棟は平成22年度に完成した。アクセスの管理橋は23年度中ごろには完成予定、戸梶川稲葉から鏡田までの河川の拡幅は、平成24年度中に完成、鏡田農道橋架け替えは平成23年度完成予定(村負担はなし)、八幡前橋は平成24年度に設計し、平成25年度に施工、事業費は1億円程度

で、アロケーション率は村が70%であるため、7千万円程度の負担金になる。これは社会資本整備総合交付金で対応する。

## 日高中学校 改築について

平成23年度の当初予算で不採択となっていた日高中学校体育館が、先の1次補正予算により採択された。

体育館は計画では本年度に着工し、来年度は旧校舎等の取り壊しを行い、造成工事によって運動場を作る計画であり、運動場が手狭のため、運動公園へクラブ活動の練習に行っている状況が、予定通り改善されることに安堵している。まだ、不採択となっている太陽光パネルの設置費、これは災害時に施設で活用できるように設置をすれば、自家発電によって大きな効果が期待できる。給食施設等への補助金については、避難民等への炊き出し場として欠かすことのできない施設であると考え、そのため予算が一日も早く措置されることを願っている。



る。

## 災害時の 福祉避難所の指定

災害時の要援護者を対象とした福祉避難所の指定及び協定を、5月20日に4事業所（コスモスの里、くすのき荘、グループホームかも日高、グループホームわが家）と締結、災害時には90人ほどがこれらの施設で、対応していただける。

70歳以上高齢者1千487人を対象に、救急医療情報キットの配布を行った。これは救急時に、病気や既往歴、かかりつけ医、服用している薬、保険番号、緊急時の連絡先等の情報をキットに入れて、冷蔵庫に常備しておくもので、救急隊員等がその情報を元に、親族等への連絡や、医療情報として提供することにより、救命率を高める効果が期待される。

## 日高村少子高齢化 対策・移住促進対 策事業等検討委員 会立ち上げ

高知市へ16kmの距離にありながら、少子高齢化が進み、人口減少が進んでいる。これに歯止めをかけるべく、庁内内部検討委員会を立ち上げ、活力ある村づくりに向けた「たたき台」を作つていく予定で、村の将来をかけた取り組みになると思いうので、原案策定後には、関係委員会等へ諮りたいと考えている。

このことに関連して、日高村への移住促進に関する協定書を締結した。これは空き家情報を、社団法人全日本不動産協会高知県本部や社団法人高知県宅地建物取引業協会を通じて発信するもので、今後、村内の空き家で情報提供が可能なものを発信していき、定住人口の拡大を図っていきたいと考えている。

## 食品加工センター 完成

能津小学校の調理場を、村の食品加工センターとして改修していたが、このほど完成し試験操業を行っている。衛生面等の管理をNPO法人日高わのわ会に委託し、村民であれば誰でも加工品が作れるようになっていく。

今後村内の農産物を使った新たな産品が数多く作られ、村の特産品として活性化につなげていってほしいと大きな期待をしている。

## IP告知端末等の 運用が6月6日よ り始まる

6月1日現在、IP告知端末の申し込み数は2千65基で、いまだ申し込まれていない方は、200件くらいあると思われる。また、インターネットの加入申し込みは、572件となっている。

有効活用していくためには、未加入者の加入促進と機器の取り扱いに習熟する必要があるため、多少時間

がかかると思うが、緊急地震速報、警報等の気象情報、安否確認や行事等の広報、自治会やPTA等でのネットワークによる情報の伝達等幅広い活用が可能となり、村民が安全で安心できる地域社会の実現に向けて、最大限活用していただきたいと思っている。

## あたたかいご寄付 をいただき感謝

本郷妹背の松岡秀直様、九頭の故楠瀬夫実雄さんのご遺族、伊野小売酒販組合青年部より、学校・図書館の図書購入のためご寄付をいただいた。また、匿名の方よりご寄付をいただき、今後の教育施策への対応のため、教育文化基金へ積んだ。



情報センター

# 審議したこと 決まったこと

H23.6.6~6.10

6月議会では、承認3件、人事案件が1件、条例関係が4件、予算関係が3件、その他が2件の13件が決まった。

## 人事

◎固定資産評価員に大川啓司氏を選任することに同意した。



大川啓司固定資産評価員

この条例は、公布の日から施行し、附則に3条を加える改正規定は、平成24年1月1日から施行する。

◎日高村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

医療費が増加し、保険税も上げざるを得ない状況があり、加入者への負担が増加する傾向にある。特に中低所得者の加入が多いことなども考慮し、中低所得者の負担軽減を図るため課税限度額の見直しを行う。

この条例は、公布の日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

住所 日高村宮谷503番地  
生年月日 昭和24年5月25日  
任期 平成23年6月25日から27年6月24日まで

## 条例

◎村税条例の一部を改正する条例

東日本大震災に係る特例規定を3条加えるもので、被災者が日高村に転入した後の住民税や固定資産税の軽減に必要なもの。

◎日高村食品加工センター設置及び管理に関する条例

地域農産物等の消費拡大と住民生活の向上、地域振興を図るために平成22年度末に完成した日高村食品加工センターの設置及び管理運営に必要な条例を制定するもの。

この条例は、公布の日から施行する。

## 予算

(△印は減額)

歳入歳出それぞれ5千125万円を追加した。  
主な歳入

◎専決処分の承認を求めることについて(平成22年度日高村一般会計補正予算(第7号))  
歳入歳出予算の総額を33億889万円とし東日本大震災の被災地3県に義援金それぞれ100万円を贈る。

◎専決処分の承認を求めることについて(平成22年度日高村一般会計補正予算(第8号))

自動車重量譲与税△157万円、地方揮発油譲与税939万円、地方道路譲与税△1千211万円、利子割交付金69万円、配当割交付金15万円、ゴルフ場利用税交付金△97万円、地方交付金5千209万円、普通地方交付税2千273万円、特別地方交付税2千936万円。  
主な歳出  
総務管理費5千239万円、基金費5千260万円、公債費△113万円。



食品加工センター

◎専決処分の承認を求めることについて（平成22年度日高村老人保健特別会計補正予算（第3号））

歳入歳出それぞれ5万円を追加した。

医療費に対する国及び県の前年度精算交付金があり、当会計は22年度末をもって廃止することから、その額を一般会計へ繰り出し残額を0とする。

◎平成23年度日高村一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ3千309万円を追加した。

主な歳入

使用料82万円、県補助金225万円、財産売却収入△1千696万円、寄付金140万円、基金繰入金4千556万円。

主な歳出

総務管理費△2千119万円、財産管理費△1千696万円、基金費100万円、社会福祉費△1千289万円、農業費1千44万円、道路橋梁費3千323万円、河川費220万円、住宅費218万円、教育総務費404万円、小学校費54万円、中学校費10万円。

◎平成23年度日高村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出918万円を減額した。

主な歳入

繰入金△918万円。

主な歳出

総務管理費△918万円。

◎平成23年度日高村介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ155万円を追加した。

主な歳入

一般会計繰入金155万円。

主な歳出

介護予防事業費155万円。

## その他

◎平成22年度日高村一般会計予算繰越費繰越計算書について

日高中学校建築事業で287万円を繰越した。

◎平成22年度日高村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

光ケーブル網等運営事業

他17件で1億648万円を繰り越した。

◎村道の路線認定について

大橋交差点改良に伴う移転予定地に新たに村道を整備計画する。

質疑

問 村道予定地から拡幅した端までの距離はどれくらいか。また、本宅・店舗両方が可能なスペースはあるのか。

答 北側の国道に面している部分については、約10m拡幅して、南側については、東側が7.5mくらいで、西側については11mくらい確保できる。

◎日高村立日高中学校校舎建築工事の請負契約の変更について

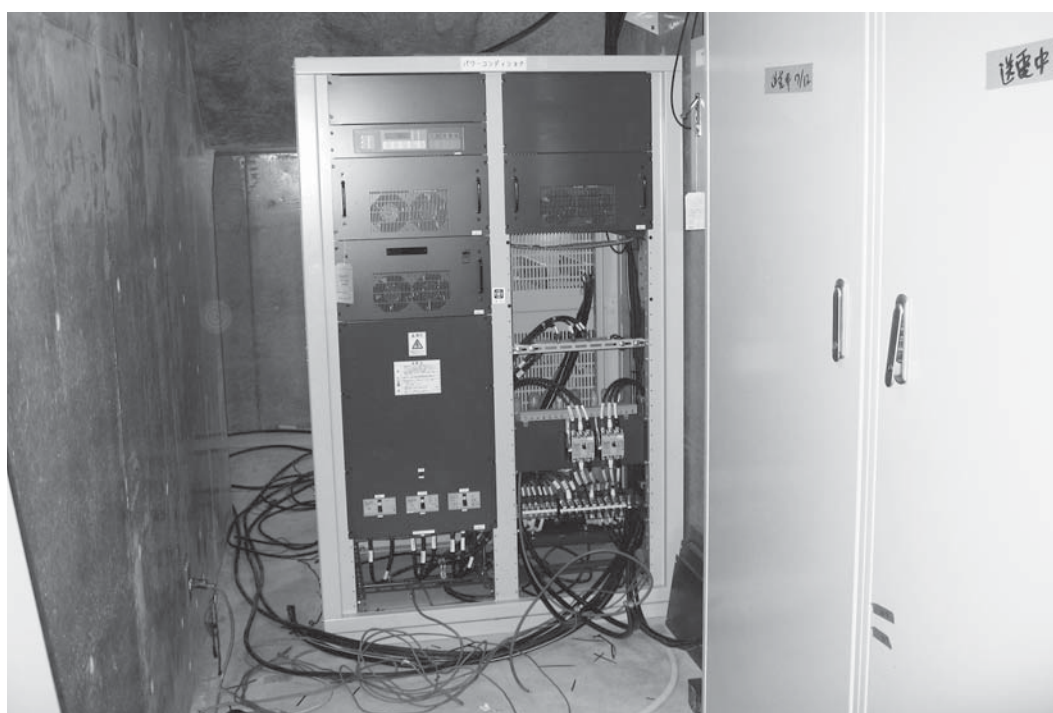
契約金額（変更前）7億980万円、（変更後）7億1千439万円。

質疑

問 パワーコンディショナーを災害時対応型に変更ということですが、停電時

のバックアップはどれくらいの時間帯が対応なのか。  
答 発電量は最大30kwで、職員室、保健室は、大体まかなえると思う。日中

は使用できるが、夜間は、今のところ蓄電は計画していない。



パワーコンディショナー



# 議員提出議案

◎安全性の未確立な原発依存からエネルギー政策の抜本的見直しを求める意見書

去る3月11日に発生した

東日本震災によって、福島第一原発は大量の放射能漏れを引き起こし、再臨界の可能性も指摘される深刻な事態となっている。

ついでに、危機的状況の回避に官・民の総力を發揮し、全力で当たることを求めるものである。

原発は基本的に安全を保障する技術が未確立であり、特に地震などの自然災害に對しては無防備で、2007年の中越沖地震時の柏崎刈羽原発での重大な放射能漏れ事故後も、日本のエネルギー政策は見直されなければかりか、さらに危険なプルサーマル計画にも乗り出している。

世界では、既に原発から太陽光、風力、波力、バイオマスなどの自然エネルギーの開発、利用へと転換している

中で、日本は大きく立ち遅れている。

よって国に対して、次のとおりエネルギー政策の抜本的見直しを求める。

1. プルサーマル計画、高速増殖炉計画、核燃料サイクル計画など、危険度の高い計画は直ちに中止し、運転中の原発については、安全性の総点検を行うとともに、計画的に縮小・撤退すること。
2. 省エネの徹底とエネルギー効率の引き上げ、自然・バイオマスエネルギーを利用した発電設備と利用拡大へ、本腰を入れて取り組むこと。

提出議員 矢野孝明

岡本、尾崎、野村、戸梶  
全員賛成 可決

決まったこと

陳情・請願

## 閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 森下雅文

5月25日

各課より説明を受けた。

委員長より諸般の報告。

産業環境課長より

日高村の野生生物の保護

に関する条例について。

教育長より

教育要覧の説明を、次長

からは中学校工事請負契約の変更についてと、予算の補

正に関して。

◎安全性の未確立な原発依存からエネルギー政策の抜本的見直しを求める意見書採択陳情書  
提出者 平和行進高知県実

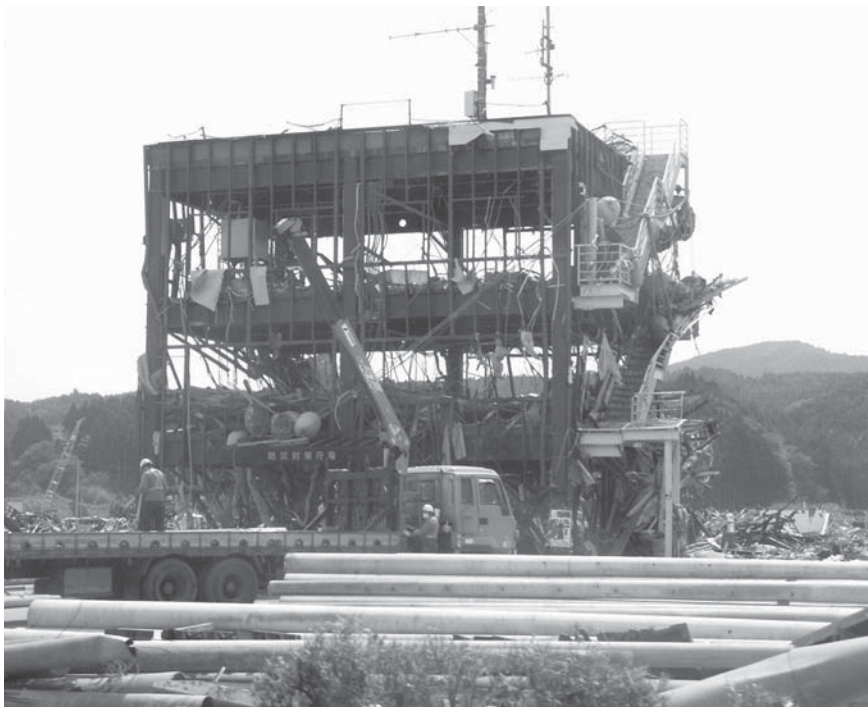
行委員会

平和実行委員会代表委員

西山潤 徳弘嘉孝 山岡美

和子 事務局長 和田忠明

全員賛成 採択



津波で破壊された南三陸町防災庁舎

## 住民課長より

村税条例と日高村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について。

## 総務課長より

休会中の主な行事についての報告と議案提出予定の報告2件、承認1件、補正予算3件、条例改正4件等。

また、東日本大震災への義援金の状況や被災対応のための職員派遣等。

村有財産の払い下げ2件を審査した。その結果、下分字類白の計2筆2,065㎡の山林を、また、大花字大本の3筆22・01㎡の現況畑の土地を、申し出書のとおり払い下げることとした。

## 経済建設厚生 常任委員会



委員長 尾崎政廣

5月25日

各課より説明を受けた。

### 建設課より

交付金補助金の割り当てが、東日本大震災の影響で大幅にカットされている。

道路関係では、要望額に対して54%の割り当て。

住宅関係は0%、水道関係は要望額の全額が割り当てられた。

続いて、村道宮谷鹿兒線の改良について、工地区間の大半を所有している地権者と交渉をしている。

次に、谷地日下停車場線の改良については、中央西土木事務所による関係者説明が7月から開催予定。

次に日下橋交差点改良について、橋の西側の地権者と移転交渉に入る。

次に6月議会の提案事項は、村道の路線認定と他、補正予算。

### 健康福祉課より

3月議会からの主な行事。

○救急医療情報キットの配布。

○災害時の福祉避難所の指定。

○23年度総合健診。

○平成23年度戦没者追悼式。

6月補正予算、特別会計、

一般会計。

### 産業環境課より

○日高村及びびいの町の一般廃棄物焼却灰の受け入れ処理。

○日高村における野生生物の保護に関する条例の一部を改正する条例。

○日高村食品加工センター設置及び管理に関する条例。

次に6月議会に提案する主な補正予算



村道路線認定予定地



# 日高村振興対策特別委員会



委員長 壬生豊秀

5月23日

1. エコサイクル施設の現地視察を行った。

宮地専務から、10月の開業に向けて取り組んでおり、4月末時点で89%の進捗状況である。

現在行っている遮水工事、管理棟、水処理施設、医療廃棄物処理施設は6月末までに完成する見込みとなっている。また、進入道路と関連する補強工事も、アンカー等によって基礎地盤の安定化に万全を期している。

2. 日高村及びびの町の一般廃棄物処理灰の受け入れ処理について提案があった



24年度以降毎年発生する予定の730トンについては、1トン6千円、23年度末までの全保管量3千トンは、半額の3千円程度で仁淀川中央清掃事務組合の灰として受け入れをするように6月の理事会で協議をしたい。

3. 環境保全等に係る連絡協議会を設置する案を作成している。  
以上3点の報告を受けた。



完成間近のエコサイクルセンター



## 公害対策特別委員会



委員長 森下芳文

5月27日

日下川の南岸で竹を伐採した後に、農薬用ビニール等が非常に散らかっており、状況が見受けられたので、現地視察に行った。

当日前に、中央西土木・建設課・産業環境課・三者の話し合いで、対応した結果、中央西土木のほうで一定処理しており、その残骸が一部残っていたが、ベツドのマット、スプリングは、上流からの漂着物ではなく、粗大ごみの不法投棄の残骸が残されておるといような実情が見受けられた。そういった点で、今後適切な対応を求めるとともに、この場所だけでなく、日下川については上流等でも、草刈りをやった後に、缶・ビン等の投棄が非常に

に見られる。そういった点で、今後、ポイ捨て禁止条例、罰則を伴う、そういったもの

の制定も含めて、検討するように、課に要請をした。



日下川現地視察

## 議会運営委員会



委員長 森下芳文

4月12日

議員定数、議会基本条例、議案審議等こういった点について検討を進めていって、12月までに一定たたき台を作りながら、全員に協議していただき、3月には結論を出したいと、そういうタイムスケジュールを設定した。

県内で、すでに議会基本条例を制定した町としては、四万十町、大豊町、梶原町があるが、いずれもこの4月から施行ということで、県外でのそういう先進地等の視察を計画する。

5月12日

執行部も交えての

会を持った。

その中で、執行部からも、議会活性化のためにそういう視察研修は是非やってほしいと。

7月4日の鳥取県南部町、7月5日の鳥取県北栄町の2カ所の先進的な町を視察に行くよう計画をしている。

全員が、こういう機会を持つてということで、今回計画をした。



行政視察研修

# 被災者支援システム 導入で住民の命を守れ!



西川龍子議員

## 一般質問に4氏が立つ

質問 災害発生時は、何より、人命救助が最優先で一番重要であるが、その次に必要となるのが被災者支援である。

これらに一役買うのが、この被災者支援システムである。

災害発生時の住民基本台帳のデータをベースに被災者台帳を作成し、そこに被災状況を入力することにより、罹災証明書の発行や、支援金等の交付、救済物資の管理、仮設住宅の入退去等、一元化できるシステムになっている。

今度の震災で改めて、このシステムの重要性和平時からの導入、運用体制構築の重要性を痛感したとの声もある。

いざという時、日高村住民を、いち早く全てから守るためにも被災者支援システムの導入に取り組むべきと思うが。

答弁 森下住民課長

東日本大震災を教訓とし、いつ何時発生するか判断できない災害に対し、事前に準備しておく必要があるが、導入経費に多少かかっても、早い時期に準備しておく必要がある。

今年度、総合行政システムについて、見直す必要もあることから、関係機関とも協議し、早期導入に向け検討していく。

質問 子どもの命を守るため、防災ヘルメットの常設をと考えていたが教育長からの提案があり、予算も計上されており安心して、保育園への対応策は。

答弁 金子教育長

防災ヘルメットは学校からの要望で、小・中の児童生徒と教員の数の配置となっている。

保育園については、ヘル



南三陸町役場の仮庁舎

メットか、頭巾かということもあり、今後、現場の意見等をもとに検討する。

質問 保育園・小・中学校の避難経路となる廊下に向する窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付を行い、子どもの安全対策を行うべき。

答弁 戸梶教育次長

保育園や学校施設は、園児、児童、生徒等が一日の大半を過ごす活動の場であり災害時には地域住民の避難所としての役割もあり、安全性の確保は極めて重要と考える。

現在、日下小学校舎は新耐震基準で建築されているため、何もしないまま現在に至っている。

今後は、県とも相談し早期改善に向け対応する。

能津分園は、耐震診断終了後、工事を行う中で窓ガラス安全対策工事も合わせて行いたい。



# 東日本大震災について



森下雅文議員

質問 震災による影響は。

答弁 谷本副村長

建設関係で資材の調達に苦労している。

中学校建築の資材を心配したが、順調に推移している。フル操業となった企業もあるが、村への車の納入が遅れている状況。特別交付税の配分の行方も気がかりだ。

質問 企業の事業継続計画を見直す動きがある。行政として考慮することは。

答弁 片岡総務課長

大変重要な、これからの課題だと考えている。

質問 地域防災計画の見直しは。

しは。

答弁 片岡総務課長

4つの基本的な視点に立つて見直す。

国の指針・県の新たな計画との擦り合わせも必要。

質問 県は一時避難施設の必要な改修を検討するが、日高村は必要ないか。

答弁 片岡総務課長

地域防災計画改定の中で見直す、改修や自家発電装置等、装備も合わせて検討する。

質問 県西部と愛媛県南部の13市町村が相互応援協定を締結した。この地域でも必要ではないか。

答弁 片岡総務課長

考えてゆかなければならない。そのような対応ができる取り組みを進めた。

質問 家屋の耐震診断の実施状況はどうか。

答弁 片岡総務課長

平成19年度から昨年度までに、診断31軒、設計13軒、改修10軒。診断が必要な建物は1千480棟くらいと推計している。

## 村道等の整備について

質問 整備の見通しは。また、平成25年度の計画終了後はどうなるか。

答弁 大川内建設課長

現在の普通建設事業に、新たな計画を加えることは難しい。平成26年度からの5カ年計画で、路線の重要度や地元の協力等を考慮した上で、対応したい。

質問 駅前江尻線の両端が一車線だが、改良の余地はないのか。

答弁 大川内建設課長

まずは将来的な2車線化へ向け、国道の右折レー

この新設を要望していきたい。



## 防火対策について

質問 望ヶ丘団地に防火水槽の設置を。

答弁 片岡総務課長

用地等が承諾いただければ、そこへの設置が可能ではないか。

## その他の質問14項目



拡幅が待たれる駅前江尻線

# 馬越地区への 揚水ポンプはいつ



森下芳文議員



揚水ポンプが待たれる馬越団地

**質問** 調整池だけでは浸水対策は万全ではない。内水に対する揚水ポンプの設置はいつか。

**答弁** 大川内建設課長  
今年中には設置できるように努めたい。

## 原発の 安全神話は崩れた

**質問** 原発の安全、低コスト、安定供給の神話は成り立つか。

**答弁** 戸梶村長  
いったん事故が起きると低コストどころではない。原子力自体が、人間がコントロールできる技術を持つていない。方向転換すべきと思う。

## 産学協同が 生み出した原発神話

**質問** 日本のこうした現状を生み出したのは、産学協同の名の下に、国策に従う学者には研究費をつ

ぎ込み、反対する連中には研究費を付けない。極めて不正なやり方をしてきた結果ではないか。

**答弁** 戸梶村長  
新聞記事等の中で判断するのは、反対意見を封じ込めていかないと進まなかったという実態があったと思う。

## 執行部の 気概を疑う

**質問** 執行部の皆さんが住んでいる自治会に全部自主防災組織が仕上がっているか。

**答弁** 片岡総務課長  
ご指摘のように役場職員がおる自治会についても、一定まだ結成されていない状況です。

**質問** 課長、課長補佐クラスの執行部の所属する自治会は、率先して組織していく、それぐらいの気概が求められるのでは。

**答弁** 戸梶村長  
おっしゃられる通りで、各幹部がいる自治会の組織状況を踏まえて、取り組みを強化する。

## 放送設備は十分か

**質問** 妹背自治会と、梅ヶ坂自治会は2自治会で1カ所しかない。隅々まで言っている内容が伝わるか。

**答弁** 片岡総務課長  
屋外拡声器については、住宅地の中では、外におっても聞けるという設定で、住民の方からのご意見をお聞きしまして調整できるところにつきましては調整する。

## 要援護者対策は

**質問** 再三尋ねてきた、バッテリーアップシステムは。

**答弁** 片岡総務課長  
無停電装置の設置というようなこと等、補助金がないかと調べている状況です。





# 東日本大震災の教訓 想定外の災害への備えはどうか



野村重夫議員

**質問** 東日本の災害は、地震・津波・原発事故と想定外の大災害となった。村長は、行政報告で、これからの災害への備えとして、常に最悪を考えて備えると言っているが、産廃施設の最悪の事態というのは、どういうことを想定されているか。

**答弁** 戸梶村長

産廃施設の最悪とは、あの現実を見た時に、建物が崩壊し、仁淀川へ産廃棄物が流出するのが最悪というふうに思うわけですが、しかし、この施設は、能津地区が耐震震

度5強で想定されているし、施設の設置基準については、産廃棄物の最終処分場にかかる技術上の基準を定める政令の中から耐震基準に則って、耐震設計がされていると思う。

**質問** 震度5強に耐えられないから大丈夫と言っているが、東日本大震災は震度7だったし、今度の予想される地震は、東海・東南海・南海と3つ続けて重なってくる可能性もあるといわれている。震度7ぐらいの想定をして備えるべきだと思いませんか。

**答弁** 戸梶村長

南海地震想定については、東海・南海・東南海を含めた再検証が行われる。産廃施設の山部分については震度が5強から7になるとかは、考えていない。

想定が5強から6強になると今の施設の耐震診断を見直してもらって、それに耐え得る施設であるかどうか検証はしてもらいたいと考えている。

**質問** 震度5強で想定し、山部分については大きな震度は考えにくいと言われたが、この備えで、日高村を良くする会が心配していた、建物が崩壊し仁淀川に産廃棄物が流出するという心配はないと言いつけるのか。

**答弁** 戸梶村長

今の想定範囲内であれば言えると思う。ただ3つの地震が連動したときに、全く違う数字が出てくれば、今思っている範囲を越えるので、それについて言うべきものは、今の段階ではもっていない。

**質問** 東日本大震災は、想定外のことがあったというのが教訓だ。産廃施設も震度5強の対策をしているから大丈夫ではなく、震度7ぐらいを想定して対策を立てるべきだ。

**答弁** 戸梶村長

来年度に防災会議の方で見直しをした結果を公表するという事です。震度7の可能性があれば、それは当然震度7に耐える施設に、耐震補強も、対策もしてもらわないかと考えている。

**質問** この産廃施設、県民が見たら「こりゃ、くずれるぞ」というのが第一声だ。

あんな建物になるはずではなかったと思っっているのでは。

**答弁** 谷本副村長

擁壁があればほどこまに高くなるのは驚いている。



産廃施設

# 議 会 日 誌

4 / 11	議会広報編集委員 会	19	仁淀川改修期成同 盟会総会	議長出席
12	議会運営委員会	23	経済建設厚生常任 委員会	議長出席
14	農業委員会	24	日高村少年補導セ ンター運営委員会	議長出席
16	能津小学校歓送迎 会	24	日高佐川学校組合 議会	議長出席
21	高岡郡監査委員総 会	24	日高佐川学校組合 議会	議長出席
23	有限会社エスエス竣 工式	26	社会を明るくする 会推進委員会	議長出席
24	加茂小中歓送迎会	26	日高村人権教育研 究協議会	議長出席
26	日下小・日高中歓 送迎会	26	例月出納検査 総務常任委員会	議長出席
5 / 2	行政連絡協議会	26	経済建設厚生常任 委員会	議長出席
12	日高村交通安全会 議	26	振興対策特別委員 会	議長出席
12	議会運営委員会	27	国道33号整備促進 期成同盟会高知県 協議会総会	議長出席
13	高幡町村議会議長 会	27	公害対策特別委員 会	議長出席
16	農業委員会	27	高知県中央地区消 防協議会	議長出席
16	村営住宅入居者選 考委員会	27	シルバー人材セン ター総会	議長出席
17 / 18	道路整備促進期成 同盟会	30	原水爆禁止国民平 和行進	議長出席
17 / 18	監査委員定期総会	30	副議長出席	議長出席
17 / 18	全国議長・副議長 会	30	副議長出席	議長出席
17 / 18	議長 副議長出席	30	副議長出席	議長出席

## 編集後記

小・中学校も夏休みに  
入りました。

東北地方を中心に、  
東日本大震災による大変  
な災害が起き、東京電  
力福島第1原子力発電  
所の原発事故で、二重の  
不安がつきまといま

今年、例年になく早  
く梅雨が明け、全国では  
大変な猛暑となっており  
ます。

熱中症にならないよう水  
分を十分取ってもらいたいと  
願わずにはられません。

広報内容をより分かりや  
すくするために、内容作り  
に悩み続けております。

議会広報ですので、必然  
的に硬くなりませんが、分か  
りやすく、愛読者の皆さん  
にはぜひ議会の傍聴を、お  
勧めしますとともに、関心  
を持っていただきたいと思います。



花(スイレン)

議会広報委員会へのご意  
見・ご提言を、よろしくお  
願い申し上げます。

次回議会は、9月  
5日(月)10時に開会  
の予定です。  
お気軽に、傍聴にお  
越しください。

「日高村議会だより」は、  
資源保護のため再生紙を使  
用しています。